

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	諏訪 信一議員	<p>1 高校授業料について</p> <p>2 高齢者交通事故対策について</p>	<p>4月から高校授業料無償化に所得制限が導入され、910万円で線引きされている。</p> <p>(1) 対象となる生徒数。</p> <p>(2) 個別の申請になると思うが、新入生（現中3年生）が対象となるのか。</p> <p>(3) 課税証明書の発行は。相談窓口はどこか。</p> <p>(4) 所得は夫婦合算か。</p> <p>(5) 途中で失業の場合は。</p> <p>国道268号（大田地区）で横断歩行中に高齢者の交通事故が続いた。また、高齢者の運転による事故も多く新聞掲載されている。</p> <p>(1) 高齢者免許取得者の人数（75歳以上 男女別）</p> <p>(2) 市として高齢者の交通安全対策や啓発活動はどうなっているか。今後の計画について。</p>	<p>教 育 長</p> <p>市 長</p>	

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	久保 教仁議員	1 平成26年度から新たな農業・農政政策が始まる。この中で日本型直接支払制度にどのように対応するのか。	<p>この制度は、これまでの農地水環境保全向上対策の延長線上である。これまでの取り組みは旧市町で状況が違ふ。合併5年を経た今、国の施策も変わる。これを契機に、旧市町一体感を醸成する同一の取り組みをされるべきだ。</p> <p>(1) 日本型直接支払制度も農地・水と同様、活動組織は市と協定を結ぶことになる。新しい制度の協定に、参加したい集落になるべく早く説明会を開くべきだと思う。説明会等申請までの日程を示すことはできないか。</p> <p>(2) 旧菱刈町の農地・水への取り組みは、4校区の環境保全組織が対応してきた。末端活動組織(自治会)への助成は、基礎活動の中の一部、草刈・用排水路の浚渫だけである。基礎活動の内点検・機能の診断、活動計画の策定、研修・耕作可能な状態への農地の保全管理の実践活動や、環境保全活動に関する活動経費は、菱刈土地改良区が校区全体で運用している。単位組織の面積で配分される交付金が、単位組織に活かされていない。これでは、『自分たちの農地は自分たちで守る』という地域力を削いでしまう。それぞれの活動組織への面積配分交付金である。新しい日本型直接支払制度も同じだ。旧菱刈町も旧大口市の取り組みを学び、事務手数料を土地改良区に支払うという方式を取るべきだと思う。そのように行政指導はできないか。</p>	市長	

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	福本千枝子議員	<p>1 市民の生命を守るには</p> <p>2 長距離ランナーの育成が急務</p>	<p>(1) 地域医療体制について</p> <p>ア 最近県立北薩病院への救急車が多いと感じる。常勤の脳外科医不在が続く中、緊急の脳疾患や心疾患への対応はどうなっているのか。</p> <p>イ へき地医療の拠点病院として伊佐市の中核的医療機関をなす県立北薩病院だが、外来も減少しているのでは。また効率化を目的に2階病棟も閉められたと聞く、市長はこの事をどう思うか。</p> <p>ウ 小児科は3人体制で大変有り難く安心して子育てができる。一方外科医は2人体制で大きな手術は難しいとのことである。医師確保について、鹿大病院や県へ要望はできないか。</p> <p>(2) 生活習慣病の改善や病気の早期発見・早期治療で医療費削減につながると考える。</p> <p>ア 医療費を高騰させている疾病は何か。</p> <p>イ 食生活と運動の必要性についてどう考えるか。</p> <p>ウ 国保税を上げることは医療費削減の解決にはならない。食生活改善推進員の活用や運動推進員の育成と活動が元気な人づくりの要素となると考えるが、市長の見解は。</p> <p>(1) 今年も早春を駆け抜ける県地区対抗女子駅伝大会、県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催され、選手の皆さんは1本のたすきに思いを込め、必死に走りぬけた。ベテラン選手の頑張りも見えたが若い選手育成が急務である。教育長、市長の見解を。</p>	<p>市長</p> <p>教育長 市長</p>	

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	中村 周二議員	1 消防政策について 2 新設の伊佐PR課について	(1) 伊佐市消防団の体制、連携、装備について (1) 今まで各課で行ってきた事業等を、PR課に割り振ると思うが、以前と違う新しい仕事を、詳しく伺いたい。	市長 市長	

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	畑中 香子議員	1 TPP問題について	(1) TPP交渉をめぐって、重要農産物関税撤廃の聖域確保の可能性はないことがいよいよ明らかになる中、伊佐の農業や中山間地域を守る具体策をどのように考えるか。 (2) 米どころ伊佐市の市長としてTPPはただちに撤退すべきと、国に強く要請するべきではないか。	市長	
		2 水俣病対策について	(1) 旧山野線沿線地域など水俣病潜在患者が多数存在するとされているが、水俣病と認定されず苦しんでいる市民を救済する方策を検討するべきではないか。	市長	
		3 子ども医療費助成拡大を	(1) 県内で最も高い自己負担3,000円を他市なみの0円に、助成制度を拡大するべきではないか。	市長	

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	鶴田 公紀議員	1 行政評価について	<p>(1) 行政評価導入後は総合振興計画や予算編成等々行政運営に反映され、まちづくり水準が高まってきたのか、その効果と成果について伺う。</p> <p>(2) 行政改革大綱や集中改革プランは前期の最終年度であるが、目標どおり達成できる予定か伺う。</p> <p>ア 単年度評価及び5年間の評価について</p> <p>イ 行政改革推進本部の年度ごとの開催日数及び協議内容について</p> <p>ウ 集中改革プラン進捗状況の取組状況評価区分について</p> <p>エ 行政改革推進委員会への報告状況と広報紙やホームページ等の公表状況とホームページアクセス件数について</p>	市長	
		2 インフラ整備について	<p>(1) 公共施設の老朽化の再構築と長寿命化対策との整合性について伺う。</p>	市長	

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	森田 幸一議員	1 本市の高齢者福祉の施策について	<p>(1) 本市の高齢者数、高齢者世帯と夫婦のみの高齢者世帯及び一人暮らし高齢者世帯の推移をどのように分析していくか。</p> <p>(2) 孤独死や認知症が増加しないための施策について</p> <p>(3) 介護や療養が必要になっても、地域とかかわりを持ちながら自立した生活を送る為の環境整備の施策について</p> <p>(4) 本市の見守り支援の取り組み状況について</p> <p>(5) 緊急通報システム事業の内容と給付台数及び周知状況について</p> <p>(6) 人感センサーによる見守り支援システム導入の検討はできないか。</p>	市長	

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	岩元 克頼議員	1 地域包括ケアシステムについて	(1) 地域包括ケアシステムとはどのようなものか (2) 地域包括ケアシステム構築に向けて、現在および今後の取り組み (3) 下記事項について ア 今後の高齢者人口の見通し イ 介護給付と保険料の推移 ウ 要支援要介護認定者数の推移 (4) 医療と介護サービス提供体制について現状と将来の在り方	市長	
		2 公共施設等管理計画について	(1) 総務省は2014年度から、公共施設を撤去する費用を調達する地方債の発行を認めることとなったが、市長はこれについてどのような対応をしたいと考えているか。 (2) 市の公共施設の数、解体撤去が望ましいものにどんなものがあるか。	市長	

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	左近充 議員	1 伊佐市の農業の方向性はどうなるか	(1) 食用米の栽培について。 (2) W C S用稲の栽培について。 (3) 飼料用米の栽培について。 (4) 畜産との関係について。	市長	

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	沖田 義一議員	<p>1 曾木関白陣跡の再調査について</p> <p>2 「秀吉の道」の文化財指定について</p>	<p>(1) 旧大口市「天童ヶ尾・関白陣」は1587年5月26日、豊臣秀吉が山頂に陣を張り一泊して、大口地頭の新納忠元と会見したと言われる場所で、いくつかの文献も残っている。山を巡る塹壕状の遺構が多数発見されたため、平成15年度から17年にかけて旧大口市教育委員会が調査を実施した。しかし、平成18年3月発行の「関白陣跡」報告書によると昭和の初期の牧場建設の遺産であるとの古老の証言があったと記録されている。発掘されていた遺構の真実が危ぶまれている事態となっている。歴史的な事実については、間違いないと確信しているが、考古学的観点から確証を得るための再調査が必要とされている。(調査したところは「軍木ヶ平・関白陣」であり、三国名勝図会では「天童箇尾・関白陣」となっている。)</p> <p>(2) 「秀吉の道」は島津平定の天正15年(1587年)5月26日に鶴田城から曾木に入り、大口地頭新納忠元を引見して関白陣に1泊し、27日に関白陣を発ち、曾木針牟田の川内川(鈴之瀬)を渡り、堂崎、鳥巢、園田、山野尾上、小川内、水俣へ出た(通説)道がある。秀吉が休憩時に座した腰掛石も園田と尾上にあり、尾上には「扇取の岡」もある。「曾木関白陣」は市の文化財指定がされているが、遺構が点在している「秀吉の道」についても市の文化財に指定できないか。</p>	<p>教 育 長</p> <p>市 長</p>	

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	緒方 重則議員	1 伊佐湧水消防組合の署所統廃合計画について	<p>(1) 菱刈分遣所を大口消防署へ集約する計画について 伊佐市民の生命・財産を守り、安心な生活を保障している消防組合の統廃合が計画されている。市長としてどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 関係する地域住民の理解について 現在ある菱刈分遣所が統廃合の対象となれば、地域住民への理解を得る為に十分な説明も必要となると思うがどう考えるか</p> <p>(3) 地域消防団への影響は 関係する地域の消防団への負担が増すと懸念されるが、防災体制の強化を図る面で心配はないか。</p>	市長	

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	柿木原榮一議員	<p>1 湯之尾の旧河川のにごりについて</p> <p>2 伊佐市文化財の取り扱いについて</p>	<p>(1) 12月定例会最終日の市長の答弁で、「湯の花が一時的に流れたため」と訂正されたが、真意はどういうことか。</p> <p>(2) 市長が社長である「菱刈泉熱開発(有)」の環境対策は。</p> <p>(3) 複数のタンクが実在するが、オーバーフローを止めるインターロックの設置、タンクの定期清掃の際の沈殿物の処理等はしないのか。</p> <p>(1) 伊佐市文化財の保存の考え方を示せ。</p> <p>(2) 菱刈本城の旧太良城跡地は、県の事業が始まっており、事前調査の説明を聞きたい。市文化財保護条例第10条の現状変更等の許可申請届はいつ提出されたのか。</p> <p>(3) 教育長から25年11月7日付で始良・伊佐地域振興局に提出され、11月14日受付。地域の方から指摘され、1月22日頃、地域振興局、伊佐市文化財保護審議委員、伊佐市が確認作業をされたが、どのような埋蔵文化財の確認があったのか。</p> <p>(4) 形状が大分変更になるが、管理者の本城校区からの意見、埋蔵文化財包蔵地太良城後における土木工事等について、平成25年度林地荒廃防止事業が25年11月15日から26年3月25日までであるが、伊佐市文化財保護審議委員からの審査結果はどうだったか。</p> <p>(5) 施政方針に、市民が郷土の文化財に触れ、親しむ環境づくりを推進する。また平田氏(平田塾)の講演でも「文化を基調とした地域づくり、人づくり」と話された。合併して6年目になり、文化財の起承転結の起の部分が希薄であると思う。又、議会で行った意見交換会でも文化財を大切にできないかと指摘されている。伊佐市の文化財を調べ直し、地域づくり、人づくりにも役立てないのか。</p> <p>(6) 現在埋蔵文化財は映像で保存しているが、現物で保存して利用できないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長</p>	

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年3月10日・11日・12日

(14枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
14	今村 謙作議員	<p>1 県道53号線（前目地内）の大型車両の交通規制について</p> <p>2 伊佐PR課に期待するところ</p>	<p>(1) 県道53号線（前目地内）に於いて、夜間の大型車両の通行により、騒音や家屋が揺れるという苦情が出されている。何とか交通規制はできないものか伺う。</p> <p>(1) 4月より伊佐PR課が新設されるが、今後、どのような施策を考え、またどのようなPRを進めていくのか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	